

小倉ロータリーカラブ 週報

R I テーマ：“イマジン ロータリー”

R I 会長：ジェニファー・ジョーンズ 氏
(所属：カナダ/ワインザー・ローズランド RC)

地区テーマ：“ロータリー、継続活動と変化”

地区ガバナー：西島 英利 氏(所属：小倉南 RC)

クラブテーマ：“エターナル ロータリー”

会長 坪根 悟郎 / 幹事 高山 定典



表紙写真(銀河鉄道 999 のメーテルと小倉城)

松本零士さんを追悼して、市の企画により、プロジェクトマッピングで銀河鉄道 999 の映像が小倉城天守閣に投影されました。

【写真撮影：天ヶ瀬 洋正 会員／小倉にて／令和5年3月11日】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093(531)1121

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 北九州市小倉北区浅野2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉2F TEL(531)1727 FAX(522)4333

クラブ会報委員会 副委員長：藤澤 修司

委 員：合馬 誠一、田中 幸一郎、雲田 昭慶、傍示 文昭、西東 大、林田 秀樹

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためにになるかどうか

《報告に関して、敬称略》

事務局 e-MAIL : kokura@2700rid.com



本日の例会 第3553回

- ・国歌斉唱
- ・ロータリーソング “2700 のマーチ”
- ・クラブ協議会 No.1 (年間活動報告等)

第3552回 例会 記録

5月26日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “四つのテスト”
- ・地区研修・協議会報告

出席報告

中村 委員長

2022年7月1日：68名でスタート

	会員数	出席者数	メークアップ [°]	出席率
当日の出席	66名	44名	—	77.19%
先週の出席	66名	18名	41名	87.72% 修正後
◆ゲスト	0名			
◆ビジター	0名			

会長の時間

坪根 悟郎 会長

最近、睡眠の質ということがよく言われています。私はなどと、昼間の眠気、倦怠感などから睡眠時無呼吸症候群の検査入院をしたところ AHI が 44 (睡眠 1 時間に無呼吸及び低呼吸が合計で 44 回) の重症で CPAP のお世話になることになりました。大谷翔平選手はコンディション維持のために、とにかくよく眠るそうです。みなさんもよく寝て健康な毎日を送ってください。

幹事報告

宮島 副幹事

・次年度のミニ名簿や冊子を現在作成しているところです。つきましては、異動などで退会されることがありましたら、速やかに幹事または事務局へお知らせください。

ニコニコ献金

藤澤 副 SAA

5,000 円 : 累計金額 419,348 円

辰巳 和正 君

- ①5月16日 鴨川をどりを楽しんで来ました。
- ②5月17日 岡みどりさんの京都公演を3列目中央席からしっかりと応援してきました(笑)。
- ③5月20日 渋谷の NHK ホールでファビオ・ルイージさん指揮の N響定期公演を楽しんで来ました。
- ④5月21日 の博多ヨットクラブの湾外レースは20チーム参加中の3着でした。

山根 映子 君

皆様、グランフィルオーケストラの定期演奏会が来週 6 月 2 日に迫って参りました。ロータリアンの皆様にたくさんチケットを買っていただき、誠に誠にありがとうございます。楽団員は練習に励んでおりますので、どうぞ楽しみにお越しくださいませ。ちなみにチケットはまだまだ残っています♥♥♥

地区大会での表彰状授与

第 2700 地区西島ガバナーより、永年皆勤の表彰状が贈られました。

◎原田 光久 会員
(永年皆勤 45 年)



◎原田 鉄司 会員
(永年皆勤 45 年)



◎濱田 源一郎 会員
(永年皆勤 40 年)



◎大迫 益男 会員
(永年皆勤 25 年)

※ご欠席

地区研修・協議会報告

「地区研修・協議会」

日 時：5 月 20 日（土） 13 時～18 時 35 分
場 所：福岡ファッショングループビル（一部オンライン）

◎分科会：会長部門

松本 次年度会長

今回の地区研修・協議会も、PETS 同様中身の濃い会議でした。私からは、本会議中、吉田知弘 GE の次年度方針および分科会会长部門について報告します。

<吉田 GE の次年度方針>

地区テーマは、週報 No.25

(2023/4/7) での PETS 報告のとおり「ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう」とされました。そして、この地区テーマを実践するために、12 の具体的な行動計画が各 RC に示されました。これは一言でいえば、「クラブを元気にする、活性化する」最終目標のための実践メニューであると理解しています。50 代で歴代



ガバナーのなかでもとりわけ若く、かつても熱意溢れる GE なので、7 月 28 日の公式訪問を期待してください。

<分科会・会長部門>

講師は現在の審議会代表議員でもある灘谷 PG が担当され、審議会について講義がありました。審議会は「規定審議会」と「決議審議会」の二つで構成され、規定審議会は国に例えると「国会」に相当し、3 年に 1 回開催されます。内容はロータリーの未来計画や人頭分担金の増額案など興味深いテーマも多く、その詳細については、次年度の会長の時間などを利用しあらためてご報告いたします。

◎分科会：幹事部門

宮島 次年度幹事

幹事部門の話は大きく分けて 2 つありました。

1. 事務局の仕事は本来幹事の仕事です。『ロータリーの友 7 月号』の真ん中あたりに事務局の住所変更というコーナーが毎年あります。事務局の住所変更のあるクラブが、事務局がなくて、幹事が事務局を務めているクラブです。規模の小さい RC ということですが、本来は幹事の仕事ですので、事務局任せにすることなく積極的に幹事としての仕事をしてください。



2. 幹事は自動的にロータリーの危機管理委員会のメンバーになっています。クラブのメンバーに事件や事故があった場合は危機管理委員会が立ち上がります。過去の事例では、ロータリアンが逮捕されてマスコミ報道された後で、日本地区のロータリーの本部が知るといった事態がありました。そういうこともあります、何かあった場合は、自クラブ内で事実関係の真偽を先に確認する必要はなく（調査は後でよい）、まずはとり急ぎ地区に連絡をください。72 時間以内に本部に通知する義務を負っています。セクハラやパワハラといったことが事案になりやすいので、注意が必要です。

◎分科会：クラブ運営支援委員会

豊川 次年度親睦活動委員長、

佐竹 クラブ研修リーダー

テーマ「元気なクラブづくりのために」



クラブにとって親睦活動は、クラブ活性化の重要なファクターであると地区は捉えています。地区での委員会名も「管理委員会」から「支援委員会」となっており、各クラブ独自の親睦活動を尊重しバックアップしていく体制となっているように感じました。フォーラムの中で小倉 RC の洗心会と洗身会の説

明を求めるされましたので、その成り立ちと趣旨をご説明させていただきました。提示されたデータの中で少し気になったことがありました。会員数に関して第2700 地区全体では、増加傾向にあるようですが、クラブの人数構成の中で、100 人以上のクラブや 70 人以上のクラブは会員数増加もしくは現状維持の傾向がみられます、50~60 人程度のクラブは 30 人から 40 人のクラブへの減少傾向がみられるとのことでした。やはり会員数を維持していく上では 60~70 人のクラブ規模であることが重要であるようです。また、小倉 RC には当てはまらないかもしれません、だいたい 300 名程度が入会され、同数程度が退会されるところで、親睦活動委員会の担いとして、入会後のクラブの魅力をいかに新会員に伝えていくかが重要であると指導を受けました。

◎分科会：会員基盤向上委員会

加藤 次年度会員増強委員長

会員基盤向上委員会の鈴木次年度地区委員長のお話しでは、吉田次年度ガバナーは「地区の会員数 3200 名を必ず復活する」を目標とされています。会員数 60 名以上のクラブの最低目標は、純増 3 名です。その方法として、

- 例会を外部に解放するオープン・ロータリーの実施
- 女性会員を更に増やす
- 若い会員を増やす為に、クラブ内に衛星クラブをつくる
- 若手会員を中心とした全員参加型の増強作戦等を例を挙げられました。



又、地区委員会として、目標達成の為、各クラブへ以下のサポートを行います。

- 「クラブ活性化セミナー」を 7 月 15 日にリモートにて行う
- クラブ例会卓話への地区委員の派遣
- オープン・ロータリーの支援
- 2 名以上増員のクラブを「ガバナー特別表彰」する

また、入会 5 年未満の退会者が特に多いので、クラブの環境を工夫して会員数を減少させない様にと話されました。

◎分科会：DX 推進委員会

藤澤 次年度クラブ会報委員長

オンライン参加いたしました。DX 推進委員会の田村委員長からは、ロータリー会員同士のコミュニケーションの活性化や地域社会との連携強化など DX を推進する重要性の説明があり、その後、各クラブにおける DX の取組み事例の紹介がありまし

た。紹介された事例を 3 つ程挙げます。

1. 「インターネットバンキング」の活用による口座開設や名義変更時における手間の解消や利用時間制約の解消。
2. Zoom 等「オンライン会議」の活用による時間や移動コストの節約により、より多様な方との交流が可能。今回の地区会議では一部をオンライン参加としたことにより、会議資料のペーパーレス化も実現でき製本コストも削減できた。
3. 「クラブ資料の電子化」では過去資料を電子化し、また記念品等は写真に撮りクラウドに保存。『デジタルアーカイブ』として、誰でも何処からでもアクセス可能。

最後の質疑では、第 2700 地区の HP に各クラブの電子化された週報を掲載し、各クラブの取組みを誰でも閲覧できるようにしてはどうか?との意見もでてありました。

◎分科会：ロータリー情報委員会

増田 次年度ロータリー情報委員長

オンライン参加いたしました。送付された資料にしたがって 13 時からの本会議に参加しようとしたがうまく視聴できず、部門別分科会のみ視聴できました。



分科会では委員長による RC の歴史と沿革のご説明が主に語られ、DX による情報の集積改変とアーカイブのご紹介がありました。特に「ロータリー文庫」が充実しており（公文書 pdf。約 18,000 点）会員の皆様もぜひご利用いただきたいとのことでした。

「ロータリー文庫」

<https://www.rotary-bunko.gr.jp/>

- ・ ユーザー名 : rotary-bunko
- ・ パスワード : (事務局にお尋ねください)

◎分科会：社会奉仕委員会

二村 次年度社会奉仕副委員長

熊手委員長、許斐副委員長、両名の司会により進行されました。熊手委員長が「社会奉仕委員会の活動について」、地区内の各クラブの活動を一覧表にして、次に許斐副委員長が「豊かな自然プロジェクト」、海で“あまも”を植樹したプロジェクトのそれぞれの説明がありました。本日のメインは、ロータリー財団補助金についての話でした。地区内の各クラブは、補助金申請を積極的に行ってくださいとのことです。但し、審査基準がありますので、ご注意・ご確認ください。



◎分科会：職業奉仕委員会

田中(幸) 次年度職業奉仕委員長

私の報告は 3 点です。

1. 今年度から、実施している「4 つのテスト」の月 1 回の合唱は、非常に良い取り組みであると思いました。吉田ガバナー選出からも、ロータリーの基本は、『4 つのテストと中核的価値観』であるとの話がありました。



2. 職業奉仕の歴史を学びました。1932 年のハーバード・テーラーの話を聞いて理解が深まりましたので、皆さまも再度、ご確認をお願いします。

3. 第 2700 地区での活動事例については、殆ど我が小倉 RC で実施されてきた内容と同様でありました。また、部門別協議会の途中で、二つの短いビデオを観賞しました。ご存知の方も多いのかも知れませんが、一つは、「親の病気の為に薬を万引きしようとした少年を助けた人が年老いて病に倒れた際にその昔、万引きをしようとした少年が医者になっており、その人を救った」という内容です。もう一つは、24 時間、365 日、無報酬で働く人の正体は、実は皆さんの母親であるという内容です。是非、このビデオについては、皆さんにも見て頂く機会を作りたいと思います。併せて、今後の職業奉仕の活動内容については、国際ロータリーで作成されている手引きの活用や第 2700 地区の実践例の共有とそれに関する Q&A の作成等で、新しく入会される方々の理解を深めたいと思います。今後は地区委員の皆さんとも連携しながら進めたいと思います。

◎分科会：青少年奉仕委員会

城 次年度青少年奉仕委員長 (宮島副幹事 代読)

青少年奉仕部門は、私が参加した IAC 委員会のほかに、ローターアクト委員会、国際青少年交換委員会、RYLA・青少年育成委員会の 4 つの委員会によって構成されており、それぞれの委員会に分れて研修協議会を開催しています。IAC 委員会の研修協議会では、山本 IAC 委員長より、次期の方針がビデオメッセージで紹介されました。その後セッションに入り、まず IAC の歴史の説明として IAC の始まりについて学び、IAC にまつわる数字として現在の IAC の会員数とクラブ数を全世界と日本を確認しました。続いて第 2700 地区の IAC の活動紹介では、各クラブが実施した活動内容を視聴し、最後に次年度のスケジュールの確認を行いました。コロナ禍において、この 3 年間活動そのものが制限されていた青少年たちが、コロナが収束し、こんなことをやってみたい、あんなこともやってみたいという志を掲げる中、ロータリアンとして青少年たちの思いをサポートし、青少年への奉仕を通じて社会貢献を図ることを誓い、会を締め括りました。

◎分科会：ロータリー財団委員会

中村 次年度国際奉仕委員長

ロータリー財団は 7 つの重点分野や 6 つの財団の役割について話があり、ポリオプラス（ポリオの根絶）が最重点項目です。現在 2023 年は、パキスタンに一人の発症があります。財団は寄付で成り立っており、寄付については目標 年次基金約 130 ドル／人 ポリオ 30 ドル／人をお願いしたいとのことです。財団補助金を申請するクラブは、年 2 回 9 月と 2 月の補助金セミナーへの参加が必須です。



◎分科会：米山記念奨学委員会

荒木 次年度米山記念奨学委員長

まず、DVD 「世界へ届け米山の懸け橋」を鑑賞しました。続いて次年度地区米山記念奨学委員会の吉田廣幸委員長がパワーポイントを使って説明されました。米山奨学生事業の成り立ちから、現在の財務状況や地区的状況の説明などがありました。寄付金については、地区での特別寄付者の割合が地区の奨学生の割り当て人数に関係しますが、ここ数年で少額小口寄付を工夫したクラブが増えて特別寄付者の割合が増えてきました。今後もこの取り組みを続けてほしいとの要望がありました。



ロータリー国際大会のご案内

2024 年 5 月 25 日～29 日に、シンガポールで国際大会が開催されます。既に登録が始まっています。早めに登録されると、早期割引が適用されます。



次回例会予告

6 月 9 日（金）普通例会

- ・ロータリーソング “奉仕の理想”
- ・クラブ協議会 No.2 (年間活動報告等)